



上智大学イベロアメリカ研究所
2021年度活動報告
(2021年4月～2022年3月)

No. 29 (2022年4月)

§ 研究会

◆ 研究所共同研究「トランスボーダー・ラテンアメリカン・スタディーズ」

研究代表者：谷 洋之

共同研究者：Nilta DIAS、Lucila GIBO、Nina HASEGAWA、幡谷則子、岸川 毅、子安昭子、水谷裕佳、
Mauro NEVES、田村梨花、Helena TOIDA、内村俊太、矢澤達宏、吉川恵美子

海外出張： 新型コロナウイルス感染拡大のため中止

◆ ランチタイム・フリートーク

- | | | |
|-------|-------|---|
| 第101回 | 5月14日 | 田村梨花「ブラジルにおけるノンフォーマル教育の多様化と国際的連帯」 |
| 第102回 | 6月3日 | ネーヴェス・マウロ「イベロアメリカ放送協会音楽祭：その役割とその調査方法」 |
| 第103回 | 7月5日 | トイダ・エレナ「マシャード・デ・アシスのクロニカについて」 |
| 第104回 | 11月5日 | 矢澤達宏「黒人運動家の論じてきた多人種社会ブラジルの理想と現実—アブディアス・ナシメントを中心に—」 |
| 第105回 | 12月2日 | 水谷裕佳「先住民族ヤキに対するメキシコ大統領の謝罪と今後の展望」 |
| 第106回 | 1月21日 | ルシーラ・ギボ「ブラジルの沖縄系コミュニティにおける「オンラインゆんたく会」の重要性—言語保存及びアイデンティティ再認識の場として—」 |

§ 公開講座「ラテンアメリカ・レクチャーシリーズ」

第9回「岐路に立つブラジル—独立200年と大統領選挙を迎える2022年を展望する—」

【コーディネーター】子安昭子（外国語学部教授・イベロアメリカ研究所所員）

◆ 12月15日「ブラジルにおける政治的分極化と「消えゆく民主主義」の克服」

舛方周一郎（東京外国語大学世界言語社会教育センター講師）

「ブラジル版「三方よし」への試み—ブラジルのスタートアップとイノベーション—」

竹下幸治郎（拓殖大学国際学部准教授）

◆ 12月21日「「生きる」保障を政治に求める—ブラジルの市民社会の動きから—」

田村梨花（外国語学部教授・イベロアメリカ研究所所員）

「ブラジルの現実主義的な中庸外交の方程式」

子安昭子

◆ 1月12日「ミニシンポジウム」

《パネリスト》田村梨花、竹下幸治郎、舛方周一郎

《コメンテーター》谷 洋之（外国語学部教授・イベロアメリカ研究所所長）

《司会・モデレーター》子安昭子

（オンライン開催）

§ シンポジウム

- ◆ 11月11日「つながる東アジアと米州—新たな『太平洋世界』は形成されるのか—」

岸川 毅 (総合グローバル学部教授・イベロアメリカ研究所所員)
子安昭子 (外国語学部教授・イベロアメリカ研究所所員)
谷 洋之 (外国語学部教授・イベロアメリカ研究所所長)
水谷裕佳 (グローバル教育センター教授・イベロアメリカ研究所所員)
飯島真里子 (外国語学部教授・アメリカ・カナダ研究所所員)
【開会の辞】小塩和人 (アメリカ・カナダ研究所所長)
〈共催: イベロアメリカ研究所、アメリカ・カナダ研究所〉
<Sophia Open Research Weeks 参加企画> (オンライン開催)

§ 講演会

- ◆ 11月13日「ラテン・アメリカ政経学会第58回全国大会 招待講演:

Inequality in Latin America: What it Means for Theory and Policy」

Dr. Diego SÁNCHEZ-ANCOCHEA (Oxford University)

〈主催: ラテン・アメリカ政経学会〉

〈共催: イベロアメリカ研究所〉

(オンライン開催)

- ◆ 11月14日「ラテン・アメリカ政経学会第58回全国大会 特別企画セッション:

Latin American Thoughts on Development Revisited: In Search of a New Paradigm Shift」

Video message: Dr. Alicia BÁRCENA (Executive Secretary of ECLAC)

Keynote Speaker: Mr. Kenji INOUE (Senior Economic Affairs Officer of ECLAC)

〈主催: ラテン・アメリカ政経学会〉

〈共催: イベロアメリカ研究所〉

(オンライン開催)

§ 出版物

- ◆ 『2020年度活動報告』No. 28 (PDF版)

- ◆ *Boletín Informativo*, No. 66 (PDF版)

- ◆ 渡邊翼「低所得者層のキャリア戦略—メキシコの「未来を構築する若者プログラム」を中心に—」
(ラテンアメリカ研究 [ILA] No.45) (ISBN 978-4-904704-23-3)

序章

第I章 メキシコにおける若者学

第II章 メキシコの若者と労働

第III章 雇用プログラムとメキシコの若者

第IV章 若者のライフヒストリーとPJCF

第V章 多様な進路を歩む若者

終章

参考文献

補足資料1. 参加者の基本データ

補足資料2. トランスクリプト一覧

- ◆ 岸川毅「中国語文献にみる中国・ラテンアメリカ関係」(ラテンアメリカ・モノグラフ・シリーズ [LAMS] No.30) (ISBN 978-4-904704-24-0)

序章

第 I 章 中国・台湾におけるラテンアメリカ研究と地域間関係

第 II 章 中国における対ラテンアメリカ関係研究—『拉丁美洲研究』にみる研究動向—

第 III 章 台湾における対ラテンアメリカ関係研究—修士論文にみる研究動向—

◆ *Encontros Lusófonos* (ISSN 1346-5058), No.23 (2021)

論文

A aula de Português como Língua Adicional como espaço de desnaturalização do mito da democracia racial /
Thamis Larissa SILVEIRA

研究ノート

ブラジルにおける社会・制度変化とスタートアップの資金調達についての考察—パンデミック下の
フィンテックセクターを中心に— / 竹下 幸治郎

O papel do aprendizado da língua portuguesa na vida dos estudantes brasileiros no Japão / Marcy TAGAWA
OLIVEIRA COSTA

編集後記

◆ 『イベロアメリカ研究』 (ISSN 0388-1237)

・第 43 卷第 1 号 (2021 年度)

論文

米州人権システムとコスタリカにおける同性婚合法化プロセス / 尾尻希和

先住民の「母なる大地」と黒人の「祖先の土地」の違い—ホンジュラスの民族運動を事例にして— / 金澤直也

書評

Arturo, Escobar, *Pluriversal Politics: The Real and the Possible* (Durham: Duke University Press, 2020), 232p.
 / 松丸進

奥田若菜『格差社会考—ブラジルの貧困問題から考える公正な社会—』 (神田外語大学出版局、2021
年) 179p. / 高井菜穂子

Burges, Sean W., *Brazil in the World: The International Relations of a South American Giant* (Manchester:
Manchester University Press, 2017), 280p. / Samuel CONDE AMORIM

資料

ラテンアメリカ日誌—2020 年 7 月～12 月—

ラテンアメリカ日誌—2021 年 1 月～6 月—

研究所ニュース

活動日誌

出版物リスト

編集後記

§ 図書室

蔵書数：40,515 冊 (和書 4,809 冊、洋書 35,706 冊)

購入図書：227 冊 (和書 85 冊、洋書 142 冊)

受贈図書：24 冊 (和書 3 冊、洋書 21 冊)

除籍：6 冊

受入継続雑誌：34 点、うち洋雑誌 21 点

§ 人事

◆ 客員所員 大越翼、Bernat MARTÍ OROVAL (任期 4 月 1 日～3 月 31 日)

◆ 準所員 藤井礼奈、村瀬幸代、大場樹精、齋藤亜子 (任期 4 月 1 日～3 月 31 日)

§ その他のラテンアメリカに関する所員業績（ABC 順）

（*2021 年度の講演、講義、報告、調査等はすべてオンラインで開催）

◆DIAS, Nilta

4 月 1 日～ 3 月 31 日	現地調査	新型コロナウイルスが群馬のブラジル人コミュニティの若者の学校生活と日常生活におよぼす影響について。
10 月 29 日	論文	Córdova Quero, Hugo y Nilta Dias, “Riding the Wave: Daily Life and Religion among Brazilian Immigrants to Japan in the Age of COVID-19 Pandemic”, <i>Religions</i> 12(11), 943.
11 月 4 日	講演	“La educación de los hijos de inmigrantes latinoamericanos en Japón”, Seminario Internacional “Conociendo Japón”, organizado por la Dirección de Investigación de la Facultad de Filosofía de la Universidad Nacional de Asunción.
2 月	共著	“Envelhecimento populacional: avós brasileiros no Japão” em Fundação Alexandre de Gusmão, <i>30 anos de brasileiros no Japão</i> , Brasília, FUNAG, pp. 113-128 (ISBN:978-65-87083-66-7).

◆HASEGAWA, Nina

4 月 1 日 ～3 月 31 日	共同研究 (研究分担者)	「哲学・思想から見たラテン・アメリカ」、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)、研究課題番号:19K12498、研究代表者:中野裕考[お茶の水女子大学])、2019/4/1～2022/3/31。
10 月 22 日	講演	“¿Escribió el fundador de la Imprenta Vanegas Arroyo cuentos?: Reflexiones en torno a <i>El doctor improvisado</i> ”, Universidad Nacional Autónoma de México, Unidad de Investigaciones sobre Representaciones Culturales y Sociales, Laboratorio de Impresos Populares Iberoamericanos (LACIPI).
3 月	論文	「バネガス＝アロヨ工房創業者アントニオ自身が児童向けの物語を執筆したかという考察—物語『にわか医者』をめぐる—」、『上智大学外国語学部紀要』No.56、39-65 ページ。
3 月	翻訳 字幕制作	メキシコのセルヒオ・ガルシア＝アグンディス監督による記録映画『エンリケ・デュッセル自伝』(2014 年)日本語字幕制作。科学研究費補助金「哲学・思想から見たラテン・アメリカ」による事業。

◆幡谷 則子

4 月 1 日 ～3 月 31 日	研究代表者	「辺境コミュニティの排除と包摂—紛争後コロンビアにおける社会的主体の創生」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)、研究課題番号:19K12511)2019/4/1～2023/3/31。
6 月 28 日	講演	「COVID-19 危機下のコロンビア:全国スト(Paro Nacional)の意味と背景」、主催:日本コロンビア友好協会。
6 月 30 日	講義	「コロンビア政治情勢と平和構築の行方—課題と展望」JICA 勉強会招聘講師。
7 月 24 日	講演	「ラテンアメリカの連帯経済—その挑戦と展望」、「連帯経済勉強会第 4 回」、主催:ソリダリダード・ジャパン。
8 月 11 日	講義	“Pensamiento crítico frente al ‘desarrollo’ occidental: Intervención”, JICA-UNAH (ホンジュラス国立自治大学)国際協力専攻大学院コース改善事業における交流講義。
9 月 16 日	講演	「連帯経済の可能性—ラテンアメリカの実践から」、梨の木ピースアカデミーオンライン講座:コース名「村井吉敬の小さな民からの発想 Part3」。
11 月 14 日	報告	「コロンビア:和平合意後に深まる社会の分断」、ラテン・アメリカ政経学会第 58 回

		全国大会シンポジウム「市民が求める国家像—政治不信下のラテンアメリカを展望する」。
12月5日	報告	“Panorama de la economía solidaria en América Latina”, Módulo 2: Caracterización de las experiencias alternativas: “La reciprocidad y los colectivos de auto-organización de la vida común”, Encuentro de Florianópolis.
12月21日	講演	基調講演「コロンビア—日本関係の強化—コンヴィヴィアルな社会を求めて」、経産省主催、日本—コロンビア貿易予備合同委員会。
1月22日	ヒヤリング調査	Encuentro virtual con las activistas de Seglares Claretianas con el profesor Miguel Fajardo (UniSangil) (日本学術振興会科学研究費補助金「辺境コミュニティの排除と包摂—紛争後コロンビアにおける社会的主体の創生」による調査)。
1月29日	ヒヤリング調査	Encuentro virtual con las activistas de Seglares Claretianas y los líderes locales de Consejo Comunitario del Medio Atrato, Chocó, con el profesor Miguel Fajardo (UniSangil) (日本学術振興会科学研究費補助金「辺境コミュニティの排除と包摂—紛争後コロンビアにおける社会的主体の創生」による調査)。

◆子安 昭子

5月7日	講演	「第12章 域内協力を軸とするラテンアメリカの南南協力と南南外交」、ブックトーク 畑恵子・浦部浩之編『ラテンアメリカ—地球規模課題の実践』(前半)、主催：一般社団法人ラテンアメリカ協会。
9月3日	講演	“Japan and China’s Relationship with Portuguese-Speaking Africa: Considering the Future of Japan-Brazil Cooperation” (Joint Presentation with Prof. Danielly Ramos of University of Brasilia), JSPS Bilateral Program (Joint Research with CAPES-Brazil)2019/4/1-2021/3/31 Research Project: “Partnership for a Change: Structuring Brazil-Japan Cooperation”.
11月14日	学会発表	「ブラジル：民主化 35 年が問われているもの」、シンポジウム「市民が求める国家像」、日本ラテンアメリカ政経学会第58回全国大会、開催校：上智大学。

◆水谷 裕佳

5月1日	共著	第6章「知らない土地とのつながりを見つける旅—アリゾナで先住民族ヤキの人びとと過ごして」、桑山敬己編著『人類学者は異文化をどう体験したか—16のフィールドから—』ミネルヴァ書房、114-131 ページ (ISBN: 9784623091621)。
------	----	---

◆NEVES, Mauro

11月4日	講演	“Comprender Japón a través de su cultura pop”, Seminario Internacional “Conociendo Japón”, organizado por la Dirección de Investigación de la Facultad de Filosofía de la Universidad Nacional de Asunción.
11月30日	講演	“Evolução histórica da música popular japonesa”, Série de Palestras, Universidade Estadual de Campinas.

◆田村 梨花

4月1日～ 3月31日	共同研究 (研究分担者)	「マジョリティに向けた多様化社会の公正教育の在り方:複合的考察」文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C))、研究課題番号:16K04622、研究代表者:坂本光代[上智大学]2016/4/1～2023/3/31 予定。
5月7日	講演	「第3章 草の根から世界を変える」、ブックトーク 畑恵子・浦部浩之編『ラテンアメリカ—地球規模課題の実践』(前半)、主催：一般社団法人ラテンアメリカ協会。
5月8日	討論者	澤邊優子(学校法人 NIPPON ACADEMY) 報告『『社会変革の手段』としてのノン

		フォーマル教育活動に関する考察」、日本ラテンアメリカ学会西日本研究部会。
8月8日	学会報告	宮崎幸江・田村梨花「日本の大学生の「日本人特権」に対する意識—言語文化的多数派と少数派の比較—」母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)学会 2021 年度研究大会。
12月	共著	「多文化共生社会への想像力:横浜市鶴見区の事例から」坂本光代編『多様性を再考する—マジョリティに向けた多文化教育』、上智大学出版、pp.145-168 (ISBN: 9784324110997)。
12月	共著	宮崎幸江・田村梨花「言語文化的多様性と少数派の学生の「日本人特権」に対する意識」、坂本光代編『多様性を再考する—マジョリティに向けた多文化教育』、上智大学出版、pp.169-192 (ISBN: 9784324110997)。
12月18日	報告	宮崎幸江・田村梨花「多言語多文化社会研究グループ報告」、科研費・上智大学国際言語情報研究所共催シンポジウム「マジョリティに向けた多様化社会の教育」。

◆谷 洋之

5月1日 ～3月31日	外部委員	アジア経済研究所「現代ラテンアメリカ経済に関するテキストと教材の作成」研究会。
5月26日	発表	“Mexico’s fresh vegetable exports to North American markets: Challenges and implications”, Conferencia Internacional “East Asian Partners Dialogue on Latin American Studies”, organizada por el Institute of Latin American Studies, Chinese Academy of Social Sciences (ILAS, CASS).
8月1日	論文	「世界の農業は今 メキシコ 対米野菜輸出急増の光と陰」『農業』第 1680 号、47～52 頁。
11月4日	講演	“Los ferrocarriles en el proceso inicial de desarrollo económico en Japón”, Seminario Internacional “Conociendo Japón”, organizado por la Dirección de Investigación de la Facultad de Filosofía de la Universidad Nacional de Asunción.
11月14日	学会報告	「イントロダクション:『ラテンアメリカ』とはどんなところか」パネル「現代ラテンアメリカ経済論の教材作成」第 58 回ラテン・アメリカ政経学会全国大会(開催校:上智大学)。

◆内村 俊太

5月16日	学会報告	「近世スペインにおける教会統治」、日本西洋史学会第 71 回大会、主催校:武蔵大学。
-------	------	--

◆矢澤 達宏

4月1日 ～3月31日	研究代表者	「旧ポルトガル領アフリカにおける反植民地主義言説の再検討—アフリカ人新聞の分析から」日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)、研究課題番号:20K12353)、2020/4/1～2023/3/31。
----------------	-------	--

上智大学イペロアメリカ研究所

〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町 7-1

Tel. 03-3238-3530
E-mail: ibero@sophia.ac.jp
URL: <http://dept.sophia.ac.jp/is/ibero>

所長	谷洋之
副所長	Lucila GIBO
正所員	Nilta DIAS
	Nina HASEGAWA
	幡谷則子
	岸川毅
	子安昭子
	水谷裕佳
	Mauro NEVES
	田村梨花
	Helena TOIDA
	内村俊太
	矢澤達弘
	吉川恵美子
名誉所員	Jaime FERNÁNDEZ
	堀坂浩太郎
	Oswaldo HURTADO
	今井圭子
	三田千代子
	清水憲男
	高山智博
